

## 中教研養護部会のあゆみ

徳島県中教研養護部会副会長 荒木知子

生涯を通じて心身ともに健康に過ごすためには、子どもの頃から健康に関心を持ち、自ら課題を見つけ、自分で考え行動できる力をつけていくことが大切です。

近年、新型コロナウイルス感染症の大流行や甚大な被害をもたらす自然災害など、予測困難な状況となってしまうことが多く起こっています。様々な健康に関する情報も次々と更新されていくため、「適切な情報を選択し、正しい知識をもとにして、自分で判断し実践する力」が今まで以上に重要となってきたと思います。

そして、私たち養護教諭も、常にアンテナを張って適切な情報を取得し、生徒や保護者、教職員に発信していかなければならないと強く感じます。

県中教研養護部会では、本年度も研究主題を「心身ともに健康なライフスタイルを確立し、自分らしく生きる生徒の育成」とし、研修を進めてきました。

- 5月20日（金）県中教研養護部会役員研究協議会  
（工業技術センター）

令和3年度の事業報告と会計報告、令和4年度の事業計画案、予算案、研修計画等について協議し、理事会の承認をえました。この理事会の承認をもって決定したものとし、活動を進めさせていただくことにしました。また、県・四国総体救護についても協議しました。今年度より入田中学校の澤口博之校長先生に部会長として統括していただくことになりました。

- 7月9日（土）～24日（日） 県総体救護活動

- 7月27日（水）県中教研養護部会夏季研修会  
（オンライン開催）

今年度は不動中学校に本部を置き、配信を行いました。まず、板野中学校の山澤佳代先生が昨年度の県中学校養護教育研究大会において紙面発表をしていた研究の報告をしました。次に佐那河内小中学校の小川晶菜先生が、昨年度の四国大会で発表した内容の報告を行いました。

最後に「養護教諭としての研究の進め方」と題して、四国大学生生活科学部准教授の滝川つぼみ先生にご講義いただきました。「実践報告と研究発表の違い」「共同研究と個人

研究の違い」「研究テーマや研究計画の立て方」「事前・事後調査作成時の注意点」等、滝川先生のご経験に基づき、養護教諭の行う研究とはどのようなものかについて詳しく丁寧にご説明いただきました。

- 7月30日（金）～8月11日（木） 四国総体救護活動
- 8月17日（火）夏季養護教諭研究大会  
（オンライン開催）

北島中学校の遠藤海香子先生が、「電子メディア機器を適切に使用できる生徒の育成をめざして」と題して研究発表をされました。

- 8月24日（水）県中教研養護部会役員研究協議会  
（オンライン会議）

健康教育実践事例集のテーマについて協議したり、県・四国総体救護活動についての情報交換をしたりしました。また、執務上の問題点や改善点について各郡市より意見を出してもらって協議し、県中教研養護部会として県教育委員会に要望したい内容をまとめました。

- 8月29日（月）小中養護教諭合同研究協議会  
（オンライン会議）

小中合同で養護教諭の職務について協議しました。

- 9月23日（金）県中学校郡市陸上競技大会救護活動  
（ポカリスエットスタジアム）

- 11月5日（土）徳島県中学校駅伝競走大会救護活動  
（鳴門・大塚スポーツパーク周辺周回コース）

- 12月12日（月）県中教研養護部会役員研究協議会  
（県教育会館）

県教委への要望事項等について協議するとともに、健康教育実践事例集の原稿を収集しました。

- 2月13日（月）県中教研養護部会役員研究協議会  
（工業技術センター）

本年度の反省と令和5年度の計画についての協議及び実践事例集の製本・配付を行いました。

会員の皆様の御支援と御協力、御指導くださいました県教育委員会の先生方、部会長の澤口博之先生をはじめ郡市係校長先生に心からお礼申し上げます。